

(5) 本計画(案)へのご意見や期待すること等自由に記載してください

ご意見や期待すること等		市の考え方	ご意見の反映状況
		A:計画に反映するもの	0件
		B:計画に盛り込み済みのもの	7件
		C:計画には反映しないが、今後の取組の参考とするもの	18件
		D:その他のご意見	2件
1	安心・安全な明るい地域づくり	本計画(案)では、静岡県犯罪等に強いまちづくり条例の目的としている「安心して活動することができる安全な地域社会の実現」を目的としています。目的の実現に向け、行政、市民の皆さん、事業者の皆さん、警察や関係機関が丸となって防犯及び犯罪被害者等支援に関する施策を推進してまいります。	B
2	声かけ、人と人のつながり	本計画(案)の目的としている「安心して活動することができる安全な地域社会の実現」のため、市民の皆さん一人ひとりが防犯意識を高めるとともに、地域が一体となって防犯活動に取り組むことが必要であると考えています。地域での自主的な防犯活動が継続的、効果的に行われるよう支援するとともに、地域と連携・協働した取組をすることで、犯罪の抑止に引き続き取り組んでまいります。	B
3	学校教育(小学校・中学校生徒への防犯教育意識の活動)	子どもの防犯意識と知識を高めるため、防犯教育を実施することは重要であると考えており、本市でも小学生を対象とした体験型防犯講座を実施しています。しかしながら現状中学生を対象とした事業は未実施のため、今後子どもの防犯教育が継続して、より効果的に行われるよう、事業を検討してまいります。	B
4	地域の安全・安心を守るため、防犯カメラ及び防犯灯の設置	防犯カメラや防犯灯を設置することにより、犯罪の抑止、犯罪発生後の事件の早期解決につながることから、本市でも自治会・町内会等が設置する街頭防犯カメラの設置費用や防犯灯の設置・維持費用に対する補助金事業を実施しています。今後も地域での防犯対策が効果的に行われるよう、事業を検討してまいります。	B
5	防犯防止対策として、各自治会と協議の上防犯カメラを設置する	防犯カメラを設置することにより、犯罪の抑止、犯罪発生後の事件の早期解決につながることから、本市でも自治会・町内会等が設置する街頭防犯カメラの設置費用に対する補助金事業を実施しています。今後も地域での防犯対策が効果的に行われるよう、事業を検討してまいります。	B
6	防犯カメラ以上に地域の目(防犯意識)	ご指摘のとおり、防犯カメラ等の防犯設備の設置による地域の防犯対策の強化とともに、地域住民の皆さんによる地域の見守りや市民の皆さん一人ひとりの防犯意識の向上が重要であると考えております。今後も市民の皆さんの防犯意識を高め、実際に地域を見守る目になっていただけるよう、施策に取り組んでまいります。	B
7	出前講座を活用した情報提供	出前講座の実施により、市民の皆さんに広く、防犯等に関する情報を提供することは、効果があると考えており、本市でも悪質商法による消費者被害の防止のための出前講座や地域での防犯教室を実施しています。今後も市民の皆さんが犯罪被害や消費者被害に遭わないよう、出前講座等を通じて、市民の皆さんに広く、有効な情報を提供してまいります。	B
8	小中高生への不良化の防止	本計画(案)でも青少年の健全育成のための関連事業を掲載しております。今後も関係機関等と連携を図りながら、取り組んでまいります。	C
9	子どもの居場所の確保		
10	家庭不和の解消		
11	学校でのいじめ解消及び教師の指導のやり方		
12	見守り隊のステッカー貼など地域住民が外に出て居場所づくりをする	ご提案いただきましたように、地域住民の皆さんに、地域で各種防犯活動を展開していただくことは、犯罪の抑止につながると考えています。今後も地域の見守り活動が継続的、活発に行われるよう、取り組んでまいります。	C
13	自転車盗難が多いので、駐輪場へのポスター、標語の掲示による意識付け	自転車の盗難は市民の皆さんの身近な場所で起こる犯罪で、未だに多く発生しています。自転車の盗難や万引きなど、身近な場所で起こる犯罪の発生を抑制することが、市民の皆さんの治安に対する不安を改善するため、今後も駐輪場での啓発活動等、自転車の盗難の抑止により効果的な事業を検討してまいります。	C
14	自転車の二重ロックを行う人は実際少ないのではないかと思います。私は、先日自転車を盗まれ、そこで自身の防犯意識のなさを痛感しました。犯罪が起こってからでは遅いので、私のような人が現れないように、小学生に対して、自転車講習の際に二重ロックの重要性を呼びかけるなど、小さい時から防犯を習慣化することが重要だと考えました。防犯の講習を小学生に行うとともに、自転車を使用するためにすべき当たり前のこととして浸透させることが大事だと思いました。	ご提案いただきました自転車の二重ロックについて、子どもの頃から習慣化するよう呼び掛けていくことは、大切であると考えます。本市では子どもの防犯意識と知識を高めるため小学生を対象とした体験型防犯講座を実施しておりますが、自転車の二重ロックの子どもへの呼び掛けについても、今後検討し、子どもの防犯教育がより効果的に行われるよう、取り組んでまいります。	C
15	町の美化に努める、隣近所との声のかけ合い、あいさつの励行、隣近所同士の情報の共有、お年寄りの単身、高齢夫婦世帯を地域で支えること、全て防犯、犯罪防止につながるのではないかと思います	ご意見いただきましたとおり、地域でお互いに声をかけ合い支え合うこと等は、防犯につながると考えます。本市でも地域と連携・協働した取組のほか、地域の皆さんが今後散歩や買い物など日常生活をしながら地域の見守り活動を行う、「ながら見守り」活動を推進しており、今後も地域での声かけなど、「地域のことは地域で守る」という観点からご支援をいただき、様々な形で地域での防犯活動が行われるよう、事業を検討してまいります。	C
16	「向こう三軒両隣り」を単位として、ある程度の相互理解を基礎とするコミュニティー作りをする。まずは知ることが大切である。		
17	色々な団体でバラバラに取り組んでいる(自治会・青少年育成・PTA他)、運動性を持って運営する。		
18	いつまでも無償ボランティアに頼らないこと		
19	個人情報による内向きな姿勢を少なくすべし		

20	自治会や他の活動をとおして、周りの人たちとコミュニケーションをとり、信頼関係をとっていきたいと思ってます。		
21	人づくりが地域づくりにつながる。若い人に(中学生ぐらい)様々な役割を依頼して、人づくりをすすめることが大切だと思う。	若い方に地域等での様々な活動に参加していただくことは重要であると考えています。本市では現在大学生と協働で自転車の盗難防止啓発活動などを実施しており、今後も若い方に防犯及び犯罪被害者等支援施策に関わっていただけるよう、事業を検討してまいります。	C
22	防犯パトロール選任に困っている(高齢者となりつつあり)	本市では、これまで地域防犯活動に参加していなかった方が、防犯意識を高め、地域防犯活動に気軽に参加できるよう、散歩や買い物など日常生活をしながら地域の見守り活動を行う、「ながら見守り」活動を推進し、地域防犯活動の新たな担い手を確保してきました。今後も地域防犯活動に担い手が増えるよう、事業を検討してまいります。	C
23	通学路見守りで街頭に立っていると、防犯パトロール服が自動車運転手に視認されるためか、十字路での減速、一時停止がよく行われるように感じる。これは直接には交通事故の発生防止となり、ひいては、交通事故、犯罪の抑制の動機付けを惹起しているように思われる。	日頃より見守り活動を行っていただき、ありがとうございます。ご意見いただきましたとおり、地域での見守り活動が、犯罪や交通事故の抑止につながっています。今後も地域の見守り活動が継続的、活発に行われるよう、取り組んでまいります。	C
24	清水区内では、非常に特殊詐欺(サギ電話)が多く、だまされやすい人が多いということから、毎月被害等の情報と件数、被害額等、レジュメを作成して組長を通じて、全世帯(220世帯)流しています。警察署、銀行も詐欺手口を分析し、対策を考えてほしい。	特殊詐欺の被害が未だに後を絶たないことから、本市でも、警察や金融機関、地域住民の皆さんと連携して、年金支給日における金融機関での特殊詐欺被害防止の啓発キャンペーンを実施しています。今後も警察署や金融機関、地域住民の皆さんと連携し、特殊詐欺被害の防止に、より効果的な事業を検討してまいります。	C
25	特殊詐欺の被害が増加しており、我々としても何かできることはないかと考えたところ、サークルで防犯啓発のため週に1回程度市の同報無線を用いて「このような犯罪被害が増えている。このような対策をとるとよい」などの放送を大学生が行うのはどうだろうか。	特殊詐欺の被害が未だに後を絶たないことから、本市でも、市内でサギ電話が多発した際には同報無線による注意喚起の放送を実施しています。いただいたご意見を参考に特殊詐欺被害の防止に、より効果的な事業を検討してまいります。	C
26	各地域の交番の役割、職務がよく理解できない	交番を管轄する静岡県警察へお伝えさせていただきました。	D
27	市営の警備会社を作って欲しいです。また、透明トイレ化の加速して欲しいです。	市営の警備会社についてですが、本市では地域防犯活動を推進するため、まずは地域防犯活動の支援や、「ながら見守り」活動を行う市民ボランティア事業を進めております。また、透明トイレについてですが、日本においてはデザイン優先で、利用中でも内部が見通せる状態になる不具合が発生したり、海外の公衆トイレで検討されている「防犯環境設計」という観点が見えられていないなど、まだまだ課題も多いと認識しております。	D